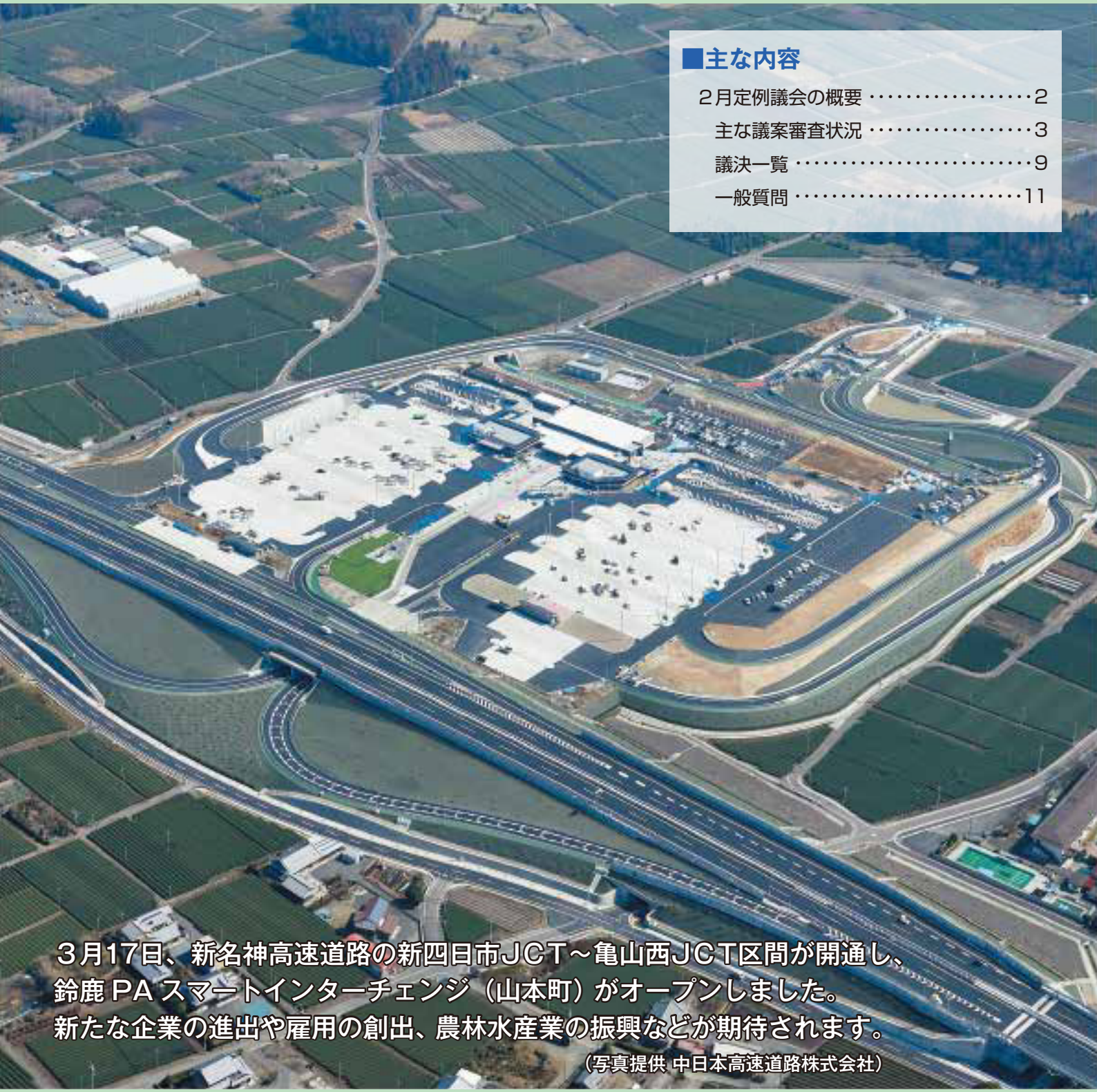
第206号　令和元年（2019年）5月20日

鈴鹿

# 市議会だより

■主な内容


2月定例議会の概要 ……2
主な議案審査状況 ……3
議決一覧 ……9
一般質問 ……11

3月17日、新名神高速道路の新四日市JCT～亀山西JCT区間が開通し、
鈴鹿 PA スマートインターチェンジ（山本町）がオープンしました。
新たな企業の進出や雇用の創出、農林水産業の振興などが期待されます。
（写真提供 中日本高速道路株式会社）

市議会の詳しい情報は鈴鹿市議会のホームページをご覧ください

鈴鹿市議会　検索　http://www.city.suzuka.lg.jp/gikai/

■発行/鈴鹿市議会 ■編集/鈴鹿市議会だより編集会議　三重県鈴鹿市神戸一丁目18番18号 TEL:059-382-7600 mail:giji@city.suzuka.lg.jp

# ２月定例議会の概要

## ２月定例議会を２月19日から３月25日までの35日間の期間で開催し鈴鹿市一般会計予算案など49議案を可決しました

２月定例議会初日の２月19日には、市長から「平成31年度鈴鹿市一般会計予算」など 42件の議案が提出され、提案説明が行われました。

２月28日には、提出議案に対する質疑を行い、28日・３月１日・４日・５日の４日間では、17名の議員が一般質問を行いました。

３月６日には、議案42件を委員会に付託しました。また、市長から「平成31年度鈴鹿市一般会計補正予算（第 1 号)」など４件の議案が追加提出され、提案説明の後、質疑を行い、委員会付託しました。６日・８日・11日・18日には、各委員会で付託議案の審査などを行いました。

２月定例議会最終日の３月25日には、付託議案について各委員長から審査結果の報告がありました。その後、３名の議員が討論を行い、採決の結果、議案46件はいずれも可決しました。

また、市長から「損害賠償の額の決定及び和解について」の議案が追加提出され、提案説明の後、委員会に付託し、文教環境委員会で審査を行いました。その後、文教環境委員長から付託議案について審査結果の報告があり、採決の結果、可決しました。

続いて、「鈴鹿市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について」の委員会発議案が議会運営委員会から提出され、提案説明の後、採決の結果、可決しました。

最後に、市長から「人権擁護委員候補者の推薦同意について」の議案が追加提出され、提案説明の後、採決の結果、同意することに決定し、散会しました。

# 各委員会での主な議案審査状況

## 総 務 委 員 会

### 議案第35号　鈴鹿市自転車駐車場管理条例の一部改正について

**（概　要）**　消費税法などの一部改正に伴い、自転車駐車場の利用料金の改定を行おうとするもの。

**質疑**　消費税の引き上げが延期になった場合はどうするのか。

**答弁**　国で消費税の引き上げが行われなければ、この自転車駐車場の利用料金の改定はできないものと考える。今回、他にも消費税法などの一部改正に伴う条例案が議案として提出されているが、その場合の対応は、市全体で協議する。

白子駅西第３自転車駐車場

## 文教環境委員会

### 議案第25号　鈴鹿市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について

**（概　要）**　消費税法などの一部改正に伴い、一般廃棄物処理手数料を改定しようとするもの。

**質疑**　改定後の一般廃棄物処理手数料をどのように設定しているのか。

**答弁**　一般廃棄物処理手数料については、消費税を含めた手数料額を条例で規定しており、過去においても消費税増税分を上乗せしている。今回も消費税増税分相当額を加算している。

## 地域福祉委員会

### 議案第９号　鈴鹿市地域づくり協議会条例の制定について

**（概　要）**　住みよい地域社会の実現のため、まちづくりを市民と行政との協働によって進めていくことが不可欠であるという認識に立ち、地域づくり協議会の活動の定着と活性化を図るため、協議会の役割などについて明らかにするとともに、要件や取り組むべき事業など協議会に関して必要な事項を定める条例を制定しようとするもの。

**質疑**　地域づくり協議会が行う事業に対し、本市はどのように関わるのか。また、地域づくり協議会と連携するための体制づくりについてはどのように考えているか。

**答弁**　地域によって課題や魅力が異なるため、各地域づくり協議会の自主性や主体性を重んじながら、事業内容について、地域の方と地域支援職員が一緒に考えていきたい。
地域づくり協議会に関する窓口を一本化することについても、引き続き協議・検討していきたい。

## 産業建設委員会

### 議案第23号　鈴鹿市共同作業場条例の一部改正について

**（概　要）**　消費税法などの一部改正に伴い、鈴鹿市一ノ宮共同作業場の使用料を改定するほか、所要の規定整備を行おうとするもの。

**質疑**　共同作業場の使用料について、将来の消費税率の変更に対応できる規定にはしないのか。

**答弁**　使用料については、消費税を含めた金額を条例で定めている。利用者に分かりやすいように一定の金額を明示しているため、今後も消費税率の変更があった場合は、条例を改正することが適切と考えている。

## 予算決算委員会

**予算の審査については、総務、文教環境、地域福祉、産業建設の各分科会に分かれ、それぞれの所管に属する予算について詳細な審査を行いました。その後、予算決算委員会の全体会においては、各分科会から審査の経過と結果の報告を受け、審査を行いました。**

## 総 務 分 科 会

### 議案第１号　平成31年度鈴鹿市一般会計予算

### ○Net119整備費　198万3,000円

**（概　要）**　聴覚・言語機能障がい者の方がスマートフォンなどにより緊急通報を行うシステムを整備する経費を計上するもの。

**質疑**　Net119事業はどのようなものか。

**答弁**　音声に頼らずに操作できるため、聴覚・言語障害のある方が、スマートフォンなどから救急車や消防車を呼ぶことが可能となる。

スマートフォンなどを利用し、画面タッチや簡単な文字入力で、消防車や救急車などの必要な情報を選択すると、選択した内容が消防本部のパソコンに送られてくる。その際、チャット方式やGPS機能によって所在地確認を行うことができる。

現在、電話以外の救急通報手段として、FAX119と119番メール通報があり、事前登録で対応している。FAX119の登録者は47名で、119番メール通報の登録者は52名であることを踏まえ、今回のNet119も50名前後の登録を見込んでいる。

### ○DONET整備事業費　45万7,000円

**（概　要）**　三重県が、地震・津波対策の一環として整備する「DONETを活用した津波予測・伝達システム」に関するシステム整備費協力金として、関係市町で負担する経費を計上するもの。

**質疑**　DONETの事業内容やメリットはどのようなものか。また、導入時期はいつ頃か。

**答弁**　DONETとは国立研究開発法人 防災科学技術研究所が運用する「地震・津波観測監視システム」である。海底に埋設された観測機を用いて津波などを予測するもので、緊急速報メールの配信や、津波の発生や浸水の有無を含め、リアルタイムで浸水状況を予測できる津波即時予測機能を利用できるメリットがある。

導入時期については、三重県が、2019年度に伊勢湾岸においてシミュレーションとシステム開発を行い、国の認可があり次第、2020年度から導入となる。開発協力金は、開発費の２分の１を三重県が負担し、残りの２分の１を伊勢湾岸に関係する市町で案分し、負担する。

## 文教環境分科会

### 議案第１号　平成31年度鈴鹿市一般会計予算

### ○学校図書館巡回指導費　2,816万6,000円

**（概　要）**　学校図書館を活性化させ、子どもたちの読書活動や学習活動、図書館運営を支援するために、小中学校を巡回し指導する支援員を派遣する経費を計上するもの。

**質疑**　支援員の業務内容はどのようなものか。

**答弁**　支援員は週に１回、午前８時30分から午後５時までの間で６時間、各学校の図書館業務を行う。児童生徒の読書活動を推進するための業務や図書館の整備支援、図書館運営に関する教職員からの相談対応、図書館ボランティアの調整役などが主な業務である。

### ○就学援助費　9,471万5,000円

**（概　要）**　経済的な理由によって就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対し、学用品費などを援助する経費を計上するもの。

**質疑**　入学予定の子どもがいる家庭に対し、就学援助制度を案内しているか。

**答弁**　新１年生の保護者に対し、入学前の準備金については就学時健康診断の際に、就学援助の申請については入学説明会で案内している。

### ○学びサポート環境づくり事業費　1億2,013万6,000円

**（概　要）**　特別支援補助員・非常勤講師（特別支援教育対応・少人数指導対応）・臨時看護師を配置する経費を計上するもの。

**質疑**　学びサポート環境づくりの事業内容はどのようなものか。また、発達に課題のある児童生徒への支援のために、支援員には専門的な訓練を行っているか。

**答弁**　学びサポート環境づくり事業では、少人数教育実施のための非常勤講師や、特別支援学級支援のための介助員、普通学級に在籍する発達に課題を抱える児童を支援するための支援員の配置を行う。

支援員に対しては、平成30年11月に研修会を開催した。2019年度は早い段階で研修会を開催し、専門的な知識を持つ方を講師に迎えての研修や、支援員の意見交換の場を設けていく。

## 地域福祉分科会

### 議案第１号　平成31年度鈴鹿市一般会計予算

### ○地域づくり推進事業費　1,754 万 7,000円

**（概　要）**　市内全地域での地域づくり協議会の設立を目指し、地域への人的支援と、地域にとって使いやすい一括交付金の交付、また、地域とコミュニケーションを図りながら施策や事業を進めていくことのできる職員の人材育成などに取り組むための経費を計上するもの。

**質疑**　地域計画策定のための予算額はいくらか。また、地域づくりに係る職員研修会の内容はどのようなものか。

**答弁**　従来は各地域づくり協議会に20万円または30万円補助金を交付しているが、2019年度は地域計画を策定するための費用として20万円の上乗せを考えている。

職員研修については、地域づくりに関する講師を依頼し、支援職員を対象とした研修会や、採用８年目や10年目を迎える職員を対象とした研修を行う。

### ○子ども医療費　7億638万9,000円

**（概　要）**　子ども医療費の対象者が医療機関を受診した際に支払った自己負担額（医療保険適用分に限る）を助成する経費を計上するもの。三重県の福祉医療費助成制度として２分の１の補助を受けて実施する。

**質疑**　子ども医療費の助成費用と県から受ける補助金の対象について詳しく知りたい。

**答弁**　県の補助金は、０歳から12歳までの子どもが対象で、扶助費として５億8,256万5,000円を計上している。市単独事業分としては、中学生の入通院分があり、入院分532万円、通院分8,923万4,000円を予算計上している。

### ○療育センターの管理運営委託料　9,391万5,000円

第１療育センター

**（概　要）**　放課後等デイサービス、児童発達支援、保育所等訪問支援などを主な事業とする療育センターに対する管理運営委託料を計上するもの。

**質疑**　管理運営委託料は第１療育センターの分だけか。また、管理運営委託に当たっては、どのような手法を取っているか。

**答弁**　管理運営委託料は、現在運営中の第 1 療育センターと、10月に開所予定の第2療育センターを含めた予算額である。

第 1 療育センターは、指定管理者制度を利用し、鈴鹿市社会福祉協議会に委託している。第２療育センターについても指定管理者制度を想定しているが、指定管理者の選定は４月以降である。

## 産業建設分科会

### 議案第１号　平成31年度鈴鹿市一般会計予算

### ○新名神スマートインター関連事業費　17万8,000円

**（概　要）**　新名神高速道路鈴鹿PAスマートインターチェンジの利用向上に向け、関係機関や関係団体などとの意見交換や協議、PRを行う経費を計上するもの。

**質疑**　新名神スマートインターに関し、どのような PRを計画しているか。また、関係機関や関係団体などとの意見交換や協議はどのように実施するのか。

**答弁**　PRについては、新名神高速道路開通のお知らせを掲載したティッシュなどを作成し、配布する予定である。また、意見交換や協議については、市内各組織の代表者を構成員とする協議会で、スマートインターチェンジの利活用の状況について検証する予定である。

### ○西部地域・南部地域 C-BUS 運行事業費　１億5,666万円

**（概　要）**　本市の独自の交通システムとして、西部地域・南部地域のニーズ、または需要の規模に応じたコミュニティバス事業を実施し、高齢者や学生といった移動制約者に対して移送サービスを提供する費用を計上するもの。

**質疑**　2019年度に実施予定の交通系ICカードの導入について、導入予定時期はいつか。また、どのような種類の交通系ICカードが使用可能となるのか。

**答弁**　公共交通会議の同意が得られれば、ICカードは2019年10月１日から使用可能となる予定である。また、三重交通のemica（エミカ）だけでなく、Suica（スイカ）やmanaca（マナカ）など全国的に使用されているほとんどの交通系ICカードが使用できる予定である。

## 議案第43号　平成31年度鈴鹿市一般会計補正予算（第１号）
## ○地域活性化商品券発行事業費　２億2,500万円

**（概　要）**　消費税の10パーセントへの引き上げが低所得者・子育て世帯（０～２歳児）の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えすることを目的としたプレミアム付商品券の販売を行うための費用を計上するもの。（全額国庫補助）

**質疑**　プレミアム付商品券の対象者には通知が送られるのか。また、商品券の購入は複数回に分けてできるのか。

**答弁**　対象者には６月以降に通知を送る予定である。また、購入期間内であれば、上限冊数（限度額）に達するまで、複数回に分けて購入することができるようにする予定である。対象者１人当たりの購入限度額は２万5,000円（販売額２万円、プレミアム分補助5,000円）である。

## 討　論（要旨）
討論は議案に対する賛否の態度、考え方を明らかにするものです。（討論順）

### ＜議案について＞

### 森川　ヤスエ議員（日本共産党）

**議案第１・２・７・８・10・15～21・23・25・27～35・37～39号に反対　その他議案は賛成**

新年度予算案では、石垣池プール修繕、学校図書館巡回指導員派遣事業、大木中学校、石薬師小学校の老朽化対応予算などは評価するが、老朽化が激しい学校施設の早急な改善が必要である。国保会計は値上げしすぎであり、県下一高い保険料が３年間続いている。市民負担軽減を図る努力がなく、反対する。消費税増税対策の「プレミアム商品券」は対象を限定しており、景気対策には役立たず不公平感だけが残る。プレミアム分補助１億7,500万円に対して事務費が5,000万円となり、無駄で愚策と思う。しかし、鈴鹿市民だけがもらえないというのは新たな不公平感を生むので、仕方なく賛成する。

### 宮木　健議員（自由民主党鈴鹿市議団）

**議案第２号、議案第24号に賛成**

国保財政運営が県域化され、どの保険者も国保財政運営は厳しい。今後の国・県の国保制度設計は保険料の引き上げを行った前提で試算が行われることからも、引き上げを行わなければ被保険者全体の負担増につながることは明白である。よって、本市においても引き上げを行わない選択は困難と考え、賛成する。

全国市長会が国保制度の抜本的な見直しを要請しており、厚生労働省は、限度額自体の在り方を含めて、国保基盤強化協議会の事務レベルワーキングで引き続き議論する方針を示している。今後の議論を注視していくとともに、議員として医療保険制度の問題点などについて声を上げていく。

### 中西　大輔議員（すずか倶楽部）

**全議案に賛成**

議案第９号　鈴鹿市地域づくり協議会条例の制定について、条例で明確にするのなら、団体自治としての制度や仕組みを早急に整理し、市の責任のある行動を求める。

消費税率の改定に伴う、料金改定に関する各条例だが、条文の表記を共通にするなど、改善すべきである。

議案第１号　平成31年度一般会計予算について、骨格予算ではなく、計上すべき事業は当初予算で計上すべきである。総合計画2023後期計画など重要な計画策定について、若い世代の声を十分に取り入れるべきである。地区防災計画づくりについて、災害リスクが高い地区は、地域計画の策定にとらわれず強く推進すべきである。

# 議決一覧（2月定例議会）

【賛成：○　反対：×】

| 議案 | 会派名（　）は所属議員数 | リベラル鈴鹿 (6) | 自由民主党鈴鹿市議団 (6) | 新緑風会 (4) | 市民クラブ (4) | 公明党 (3) | 日本共産党 (3) | 大志の会 (3) | すずか倶楽部 (2) | 議決結果 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 議案第１号 | 平成31年度鈴鹿市一般会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第２号 | 平成31年度鈴鹿市国民健康保険事業特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第３号 | 平成31年度鈴鹿市土地取得事業特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第４号 | 平成31年度鈴鹿市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第５号 | 平成31年度鈴鹿市介護保険事業特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第６号 | 平成31年度鈴鹿市後期高齢者医療特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第７号 | 平成31年度鈴鹿市水道事業会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第８号 | 平成31年度鈴鹿市下水道事業会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第９号 | 鈴鹿市地域づくり協議会条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第10号 | 鈴鹿市男女共同参画センター条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第11号 | 鈴鹿市職員の勤務時間，休暇等に関する条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第12号 | 鈴鹿市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第13号 | 鈴鹿市手数料条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第14号 | 鈴鹿市立幼稚園条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 〃 (※) |
| 議案第15号 | 鈴鹿市立公民館条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第16号 | 鈴鹿市ふれあいセンター条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第17号 | 佐佐木信綱記念館条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第18号 | 鈴鹿市考古博物館条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第19号 | 鈴鹿市運動施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第20号 | 鈴鹿市民会館条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第21号 | 鈴鹿市文化会館条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第22号 | 鈴鹿市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第23号 | 鈴鹿市共同作業場条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 〃 |

※議長は原則として採決に加わりませんが、例外として、議案第14号は、地方自治法第244条の２第２項と、議会の議決に付すべき公の施設の廃止又は長期かつ独占的利用に関する条例第３条の規定により、出席議員の３分の２以上の同意を必要とすると定められている事項であるため、議長も採決に加わりました。

# 議決一覧（2月定例議会）

【賛成：○　反対：×】

| 議案 | | リベラル鈴鹿 (6) | 自由民主党鈴鹿市議団 (6) | 新緑風会 (4) | 市民クラブ (4) | 公明党 (3) | 日本共産党 (3) | 大志の会 (3) | すずか倶楽部 (2) | 議決結果 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 議案第24号 | 鈴鹿市国民健康保険条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第25号 | 鈴鹿市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第26号 | 鈴鹿市廃棄物処理施設条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第27号 | 鈴鹿市斎苑条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第28号 | 鈴鹿市鈴が谷運動広場の設置及び管理に関する条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第29号 | 鈴鹿市農村環境改善センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第30号 | 鈴鹿市労働福祉会館条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第31号 | 鈴鹿市伝統産業会館条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第32号 | 鈴鹿市道路占用料徴収条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第33号 | 鈴鹿市河川占用料徴収条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第34号 | 鈴鹿市都市公園条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第35号 | 鈴鹿市自転車駐車場管理条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第36号 | 鈴鹿市水道の布設工事監督者の資格等を定める条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第37号 | 鈴鹿市水道事業給水条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第38号 | 鈴鹿市公共下水道条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第39号 | 鈴鹿市農業集落排水処理施設条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第40号 | 工事請負契約の締結について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第41号 | 市道の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第42号 | 市道の廃止について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第43号 | 平成31年度鈴鹿市一般会計補正予算（第１号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第44号 | 平成30年度鈴鹿市一般会計補正予算（第４号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第45号 | 平成30年度鈴鹿市後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 〃 |
| 議案第46号 | 鈴鹿市職員給与条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 〃 |

# 議決一覧（2月定例議会）

【賛成：○　反対：×】

| 議案 ＼ 会派名（　）は所属議員数 | | リベラル鈴鹿 (6) | 自由民主党鈴鹿市議団 (6) | 新緑風会 (4) | 市民クラブ (4) | 公明党 (3) | 日本共産党 (3) | 大志の会 (3) | すずか倶楽部 (2) | 議決結果 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 議案第47号 | 人権擁護委員候補者の推薦同意について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 同意 |
| 議案第48号 | 損害賠償の額の決定及び和解について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 委員会発議案第１号 | 鈴鹿市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |

議長は原則として採決に加わりません。

起立採決の様子

## 会派等構成員一覧

| | |
|---|---|
| リベラル鈴鹿 | 森田　英治　中村　浩　板倉　操　大窪　博　伊東　良司　平野　泰治 |
| 自由民主党鈴鹿市議団 | 森　喜代造　野間　芳実　矢野　仁志　宮木　健　森　雅之　山中　智博 |
| 新緑風会 | 宮本　正一　大杉　吉包　山口　善之　平畑　武 |
| 市民クラブ | 大西　克美　原田　勝二　市川　哲夫　薮田　啓介 |
| 公明党 | 池上　茂樹　藤浪　清司　船間　涼子 |
| 日本共産党 | 石田　秀三　森川ヤスエ　橋詰　圭一 |
| 大志の会 | 明石　孝利　今井　俊郎　永戸　孝之 |
| すずか倶楽部 | 中西　大輔　後藤　光雄 |
| 無所属 | 水谷　進（議長） |

※採決時の会派等構成員一覧です。

# 一般質問（要旨）

市議会ホームページにて一般質問の録画配信と会議録を公開しています。詳細は16ページをご覧ください。

## 自由民主党鈴鹿市議団　森　雅之　議員

### 教育ICTについて

**（質問）今後の整備予定は。**

**（答弁）**本市における「教育ICT」は、文部科学省が示す目標水準に達しておらず、県内の市町と比較しても整備が遅れている現状である。学習用ICT環境は、ICT機器や学習用パソコン、校内ネットワークの整備が遅れていることにより、他自治体で取り組んでいるICTを活用した授業の実施が難しい状況である。校務用ICT環境は、教職員１人１台のパソコンやネットワーク環境、統合型校務支援システムなどの整備が進んでいない。2020年新学習指導要領の全面実施に間に合わせるためには、2019年度内に整備を完了させる必要がある。今後、整備に向けて、情報セキュリティ対策にも配慮した上でしっかり取り組んでいきたい。

**その他の質問○下水道事業について**
**○公共交通政策について**

## 公明党　藤浪　清司　議員

### 高齢者の移動手段確保について

**（質問）公共交通バス路線の一部廃止などで交通不便地域が増える中、自動車運転免許証自主返納が進み、通院や買い物を目的とした高齢者の移動手段確保の必要性が高まっている。その対策として、北勢地域でもデマンド乗合タクシーなどの試験運行を行う市町が増えている。本市でも公共交通空白地域の定義を実態に合わせて見直すとともに、地域や交通事業者と協議を行い、デマンド乗合タクシーなどの実証運行をすべきと考えるがいかがか。**

**（答弁）**公共交通空白地域の定義については、バス停までの距離を見直し、より現実的な設定にしていきたい。地域主体の乗合タクシーなどの運行ルールを定めた手引書を作成し、地域での聞き取りやアンケート調査を進め、速やかに地域選定を行い、地域需要に沿った交通システムの実証運行など、目に見える確かな形として実現していきたい。

## 大志の会　今井　俊郎　議員

### 定期監査報告書より

**（質問）定期監査報告書によれば、決裁文書の不備が常態化し、長年の課題となって改善されていない。特に教育委員会が突出している。職員の問題意識の低さをどのように受け止め、どのように徹底・解決を図るのか。**

**定期監査は各部署を隔年で対象としている。来年度の監査対象の部署に対しても適正な事務の執行に努めるよう求める。**

**（答弁）**公文書作成ハンドブックを活用した職員研修を実施しているが、文書事務の不備が多数あることから今後も監査指摘事項の把握･分析を行い、次年度以降の研修に取り組む。全職員がチェック機能を果たすよう、原点に戻って正確な事務処理を行う。起案の意義の徹底や仕事を属人化させない取り組み、また、定期的に研修の場を持つことで職員の意識改革を図り、適切な事務執行に努める。

**その他の質問○天皇即位における大型連休への影響**

## リベラル鈴鹿　森田　英治　議員

### 農業支援について

**（質問）農業は、人の命に関わる食べ物を提供しているだけではなく、環境に関しても重要な役割を担っている。支援の状況は。**

**（答弁）**水田は、生産活動をはじめ、ゲリラ豪雨や台風などの大雨洪水時に貯水機能を果たす防災対策や景観など多面的機能があり、その活用に向けたさまざまな支援を行っている。

水田農業の衰退・荒廃を防ぐために、補助金による支援や転作作物の種子代の補助金などで支援し、また、農地利用のマッチングや新規就農者の支援、耕作放棄地再生の取り組みに対する支援などを行っている。

野菜・植木・お茶・花木・畜産農家に対しても、獣害対策や伝染病対策など、それぞれの事業に適した対策を、関係団体と連携しながら経費の助成などを行っている。

**その他の質問○中勢バイパスについて**

## 自由民主党鈴鹿市議団　森　喜代造　議員

### 学校の対応について

**（質問）児童の虐待について本市の実態は。また、児童相談所との連携について、どのような取り組みを行っているのか。**

**（答弁）**本市の児童虐待に係る相談件数は、昨年度が246件で年々増加傾向にあり、県内の他の児童相談所と比べて相談件数は上回っている。そこで、小中学校で研修会を実施し、児童虐待の未然防止と早期対応の周知を図り、虐待防止に努めている。

県では、今年の４月より、三重県鈴鹿庁舎内に鈴鹿児童相談所を開設することとなり、本市からは職員一人を派遣する。開設によって、児童虐待相談などへの迅速な対応が可能となる。また、介入型支援の強化のため、関係機関と積極的な情報共有を図り、さらなる連携の強化に努めたい。

**その他の質問○廃棄物対策について**
**○五歳児集団適応健診について**

## すずか倶楽部　中西　大輔　議員

### 小学校を子ども政策の基礎に

**（質問）放課後の小学校をどの子でもいられる居場所にして、手厚いセーフティネットを学校に形成し、「子育ち、子育てのまち鈴鹿！」という形で子ども政策の基礎にする政策を実現してはどうか。**

**「新・放課後子ども総合プラン」で、国から学校施設の活用という方向が示されているが、市の考えを問う。総合計画2023後期計画に位置付けて取り組みを進めてはどうか。**

**（答弁）**「新・放課後子ども総合プラン」においても同様の考え方が示され、社会的な要請との認識で取り組む必要があると考えている。

関係部局と調整を行い、放課後児童クラブや放課後子ども教室での余裕教室の活用について問題点の整理を行い、総合計画後期計画の記載に向けて検討したい。「新・放課後子ども総合プラン」の考え方に基づき、教育委員会も関係各課と歩調を合わせて検討したい。

## すずか倶楽部　後藤　光雄　議員

### 鈴鹿アンリミテッドFCのJFL参入に関して

**（質問）①ホームゲーム主会場であるAGF鈴鹿陸上競技場のJFL事務局から求められた改善点は。②市内15試合、市外15試合が行われるリーグ戦はシティセールスの上からも大きなチャンスと考えるが、市の考えは。③市長が参画する「Jクラブ誕生とスタジアム建設を推進する県民会議」の状況は。**

**（答弁）**①試合開催にあたって、温水シャワーの設置を指摘され、給湯器の設置などを進めている。②新しい地域資源として活用できるように関係者と連携し、効果的な情報発信を行い、シビックプライドの醸成につなげていく。③スタジアム建設については、具体的に検討している状況にない。オール三重でのチームの創設については、既存クラブの基盤を大事にしてほしいという思いから、慎重かつ十分に議論されるべきと考えている。

**その他の質問○津波避難施設整備事業補助制度について**

## 市民クラブ　市川　哲夫　議員

### 合川保育所について

**（質問）合川保育所は昭和40年代に建築され、老朽化が著しい。建て替えの考えはあるか。**

**（答弁）**市内の公立保育所や公立幼稚園は、老朽化した建物も多くなってきており、合川保育所については、特に整備の必要性が高い第１次重点整備箇所として位置付けている。

合川保育所がある天栄中学校区の公立の栄幼稚園は、近年、入園希望者が減少しており、鈴鹿市立幼稚園再編整備計画では、栄幼稚園と合川保育所を一体化し、天栄中学校区の中央部への移転を目指すこととしている。

今後の公立保育所・幼稚園の整備については、児童数の推移や利用者数の動向などを見極めていく必要があり、幼保一元化などの整備手法や地域全体の就学前施設のバランスも考慮しながら、本市における公共施設全体の計画の中で検討していきたい。

**その他の質問○国体の準備について**

## リベラル鈴鹿　板倉　　操　議員

### 市の非正規職員の処遇改善制度

**（質問）公共の職場にも非正規労働者が増え、官制ワーキングプアと呼ばれる社会問題となっている。議会や労働組合の働きかけもあって2020年４月に法改正となるが、本市の処遇改善の内容は。また、嘱託職員の賃上げや経験加算雇用は検討しているか。雇用の継続は。**

**（答弁）**本市の非常勤職員の実態を把握し、嘱託職員をフルタイムの会計年度任用職員、臨時職員をパートタイムの会計年度任用職員と位置付け、任用、勤務条件などを順次検討していく。制度改正後も雇用を継続し、フルタイムの会計年度任用職員は地方公務員共済制度への移行や期末手当の支給率の引き上げ、パートタイムの会計年度任用職員には距離に応じた通勤費の支給や忌引き休暇の新設などに対応したい。賃上げなどは、今後の課題としていく。

**その他の質問○労働局との雇用対策協定について**

## 日本共産党　森川ヤスエ　議員

### 広域連合について

**（質問）**高齢化が進む中で、介護保険事業計画は重要だが、本市の介護保険事業は亀山市との広域連合で運営され、特別養護老人ホームの整備などは、広域連合が亀山市とのバランスに配慮しながら整備計画をつくるという現状である。また、地区社協や地域づくり協議会との連携や、介護施設側からの要望について、市が直接対応できず、市議会においても介護保険事業計画の策定や保険料の設定、サービスなどの政策提案ができない。市民へのサービスを市として直接判断できない現状を改善するため、広域連合の解散を求める。

**（答弁）**地域、圏域、本市、広域連合が適切に役割を果たしていけるよう連携しつつ、新たな広域連携の仕組みも研究しながら、地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域に根ざした高齢者福祉を推進していきたい。

**その他の質問○幼児教育無償化の影響について**

## 日本共産党　橋詰　圭一　議員

### 高齢者の生活交通について⑥

**（質問）**本市は市街地が分散した広い街であり、移動手段を確保してほしいという要求はどの地域にもある。多くの市民が利用できる地域交通を、刈谷市や玉城町のように、市長の思い入れが強いシステムとして作り出してほしい。高齢者の移動手段の確保について、多くの高齢者や交通弱者が望む期待にどう応えるか、市長の思いと考えを聞く。

**（答弁）**高齢化社会が進む中で、お住まいの近くに公共交通機関がない、また、坂道が多いなど、生活していく中で移動手段に不安を感じる方々が増えてきていると肌で感じている。

　これまでの公共交通空白地域の定義を見直すとともに、現在、作成を進めている手引書を通じて、その地域の方々と協議を行い、速やかに実証運行を開始し、地域に必要な公共交通を確立していきたい。

**その他の質問○白子地区の都市計画道路について**

## 日本共産党　石田　秀三　議員

### 国民健康保険について

**（質問）**鈴鹿市の国民健康保険料の金額は、県下14市の中で３年連続トップであり、モデル世帯（40代夫婦と子ども２人の４人家族、自営業で所得300万円）、１人当たり金額とも県内平均より20%高額である。所得300万円の４人世帯で年額60万円もの保険料は、市民の生活を圧迫している。この県下一高い国保料を見直し、引き下げることを求める。特に子どもにかかる「均等割」（1人4万800円）は廃止または軽減すべきであると考えるがどうか。

**（答弁）**平成30年度決算および平成31年度の収支バランスの動向を見極めた上で、今後の保険料率について慎重に検討したい。子育て世帯の負担軽減のために、子どもにかかる均等割の軽減は有効であると考え、国に要望している。今後も国の動向に注視しつつ、引き続き要望していきたいと考える。

**その他の質問○生活保護基準について**

## 公　明　党　船間　涼子　議員

### 健康福祉施策について

**（質問）**65歳以上の方が、高齢者施設で話し相手となるなどの活動により交付金を受け取る「鈴鹿いきいきボランティア制度」と、運動・食事・健康面のチャレンジと健診や健康講座を受けて特典を受け取る「すずか健康マイレージ事業」のポイント制度の現況を尋ねる。多くの方が参加できるよう周知に努め、市民の負担軽減や還元ができるよう拡充を求める。

**（答弁）**現在、ボランティア登録者は145人。評価ポイントは、１時間につき１ポイント、１日２ポイントまで。10ポイントごとに1,000円と交換でき、年間50ポイントを上限としている。昨年度は81人に、22万3,000円を交付した。2020年度までに200人の登録者を目指す。健康マイレージのチャレンジシートを2,600枚配布し、本年１月末で44人が申請している。さまざまな機会を通じ、制度・事業の周知に努める。

**その他の質問○予防接種について**

## 公　明　党　池上　茂樹　議員

### 交通安全対策について

**（質問）野町南一丁目での造成工事中、歩道まで工事が及び稲生小学校の児童が車道に出て登下校する危険な状況が続いた。今後、このようなことがないよう通学路の安全対策を講じることを求める。また、磯山4の交差点は、右折できず渋滞が慢性化している。右折用信号機を設置し、安全対策を講じることを求める。桜島市営住宅東の信号機や中旭が丘の交差点に時差式信号機を設置できないか。**

**（答弁）**工事着手届出書が提出された時点で、通学路に関する小学校に十分に説明されたかを確認し、通学路を工事する場合は、パトロールを強化して安全対策に努める。保護者やボランティアの方などに対し、学校だよりや学校メールなどで情報提供を行う。

交通安全対策として、右折用信号機の設置や時差式信号機の設置に向けて、所管する鈴鹿警察署に働きかけていく。

## 自由民主党鈴鹿市議団　山中　智博　議員

### 業務改善について

**（質問）職員数が減少する中で今後も多様な市民ニーズに対応するには、情報技術（IT）の導入や業務の標準化が必要と考える。市民相談や窓口業務により時間を割けるように、事務作業の負担軽減や効率化、コスト削減など、職員の間からも近年さまざまなアイデアが提案されている。業務改善への考えを問う。**

**（答弁）**国では現在、ITを活用して業務の自動化・省力化を図り、より少ない職員で効率的に事務処理する体制の構築を目指している。行政経営の視点からも、「やり方の改善」は業務時間の削減による歳出削減や、新たなニーズに対する市民サービスの向上などの効果が考えられる。本市でも、IT導入に向け業務の標準化・共同化の必要性や効果に関する情報を共有し、各部署での業務の棚卸しを促すだけでなく、さらなる調査・研究に努める。

**その他の質問○改元に伴う行政対応について**

## 自由民主党鈴鹿市議団　野間　芳実　議員

### 入国管理法の改正について

**（質問）本年４月１日施行の入国管理法の改正内容は。また、本市で実施している多文化共生の施策と法改正後の対応を尋ねる。**

**（答弁）**法改正の主な内容は、就労を目的とした在留資格が新たに創設され、農業･漁業･建設・介護・宿泊など14業種においても就労できるようになるものである。現在、本市では「鈴鹿市多文化共生推進指針」を策定し、各種施策に取り組んでいる。外国人市民への支援としては、転入手続きの際にごみ収集カレンダーや防災マップなどの翻訳したものを提供している。また、地域における取り組みとして、ボランティアの方による日本語教室が市内３カ所で運営されている。法改正後は、関係課との情報共有や国際交流協会との一層の連携、国の総合的対応策の推進、外国人集住都市会議への参画などで対応していきたい。

**その他の質問○通学路について**

## 市民クラブ　原田　勝二　議員

### 市政運営について

**（質問）財政難に伴う人件費の削減について問う。防災・減災の備えや未来を託す子どもたちの教育環境を改善するため、市長以下特別職および部長級職員の給料を三重県並みに減額する予定はあるか。**

**（答弁）**本市の歳入は、リーマン･ショック以降、法人市民税が大きく減収し、いまだに回復していない。歳出は、社会保障関係経費である扶助費を中心に経常的経費が大幅に増加したことにより経常収支比率が上昇し、厳しい財政状況にある。このような状況のもと、税収に頼るだけではなく、適切かつ多様な財源の確保に努めるとともに、全ての事務事業について見直しを行い、効率的で効果的な財政運営に努めている。財政の健全化に向けてのあらゆる取り組みを行う中で、将来の状況も勘案し、三重県が行う管理職員給料減額についての取り組みについても調査研究していく。

# 議会を傍聴しませんか

本会議や委員会などを傍聴するときは、市役所14階の議会事務局で傍聴券を受け取ってから入室してください。傍聴の受け付けは、会議開会の30分前からです。

なお、会議開催予定は、市議会のホームページや市役所の掲示板などでお知らせします。

本会議場：定員53名

委員会室：定員10名

## 音声が聞き取りにくい方に

議場傍聴席にて聞きとりにくい方には、ヘッドフォンを貸し出していますので事務局へお申し付けください。

## 議会に来れなくても・・・

### CNS（ケーブルテレビ）で生放送

本会議をデジタル122chで生放送しています。放送時間は午前10時（開会時間）から会議の終了までです。

### 議会のホームページで録画映像配信

市議会のホームページで、テレビ中継した映像をおおむね2週間後に録画配信しています。

スマートフォン・タブレットなどのモバイル端末でも視聴できます。

## もっと詳しく知るには・・・

## 会議録があります！

会議の詳しい内容については、市役所本館14階の議会図書室と4階の行政資料コーナーで閲覧できます。

なお、本会議の会議録は、市立図書館や各地区市民センターなどでも閲覧できます。

また、鈴鹿市議会ホームページで会議録を公開しています。

※2月定例議会の会議録は、6月上旬に配置予定です。

詳しくは議会事務局にお問い合わせください

## 皆さんのご意見をお聞かせください

市議会や市議会だよりに対する皆さんのご意見・ご提案・ご要望をお聞かせください。今後の参考にさせていただきます。

あて先は

**鈴鹿市議会事務局**
〒513-8701　鈴鹿市神戸一丁目18番18号
TEL：059-382-7600　FAX：059-382-4876
mail:giji@city.suzuka.lg.jp

## 議員からの寄附は禁止されています

議員（候補者を含む）が、親睦旅行会・会合・お祭り・運動会などの行事に、寄附や差し入れなどをしたり、祝い金（出産・新築など）や贈り物をすることは、公職選挙法などにより罰則をもって禁止されています。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 5・6・7月の会議日程

※日程は変更される場合があります。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 5月 | 23日 | 木 | 10:00 | 文教環境委員会、産業建設委員会 |
| | 24日 | 金 | 10:00 | 総務委員会、地域福祉委員会 |
| | 30日 | 木 | 10:00 | 議会運営委員会 |
| 6月 | 6日 | 木 | 10:00 | **本会議（提案説明）** |
| | 7日 | 金 | 14:00 | 議会運営委員会 |
| | 19日 | 水 | 10:00 | **本会議（代表質問）** |
| | 20日 | 木 | 10:00 | **本会議（質疑、一般質問）** |
| | 21日 | 金 | 10:00 | **本会議（一般質問）** |
| | 24日 | 月 | 10:00 | **本会議（一般質問）**<br>議会運営委員会（本会議終了後）<br>各派代表者会議（議会運営委員会終了後） |
| | 25日 | 火 | 10:00 | **本会議（一般質問、追加議案等、委員会付託）**<br>予算決算委員会（本会議終了後） |
| | 26日 | 水 | 10:00 | 文教環境委員会（分科会）<br>産業建設委員会（分科会） |
| | 27日 | 木 | 10:00 | 総務委員会（分科会）<br>地域福祉委員会（分科会） |
| 7月 | 2日 | 火 | 10:00 | 予算決算委員会<br>各派代表者会議（予算決算委員会終了後）<br>広報広聴会議（各派代表者会議終了後） |
| | 3日 | 水 | 10:00 | 議会運営委員会 |
| | 4日 | 木 | 10:00 | **本会議（委員長報告、討論、採決）**<br>全員協議会（本会議終了後）<br>議会だより編集会議（全員協議会終了後） |